

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成24年9月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

↻ 前月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は1から3に増加。「減少した」業種は11から10に減少。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は10から6に減少。「減少した」業種は9から13に増加。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は2のまま変化なし。「悪化した」業種は13から20に増加。

↻ 前年同月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は2のまま変化なし。「減少した」業種は7から9に増加。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は6から4に減少。「減少した」業種は10から14に増加。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は2から3に増加。「悪化した」業種は19から24に増加。

製造業

【しょうゆ製造】

【県内全域】

輸入麦の政府売渡価格の改定があり、10/1から平均3%引き上げ。

【漬物製造】

【県内全域】

浅漬の動き、特に白菜漬の動きが悪く、いつまで北海道の問題(0・157)が影響するの心配。

【豆腐製造】

【県内全域】

揚げ物の需要が徐々に伸長。気温が落ち着いてきたために、購入の動きが出てきているようだ。

【めん類製造】

【県内全域】

10/1輸入麦の政府売渡価格改定(平均+3%)が実施され、それに伴い製粉会社各社から原料小麦粉の価格。値上げ改定の発表があった。実施は12月20日頃。

【乳製品】

【県内全域】

市場は全般的に安売が目立つ。特に冷凍食品の半額セール実施している量販店が多い。

【印刷】

【県内全域】

受注売上は、8月と比較して若干悪化した模様。従来3月期決算法人は9月末が半期の決算日なので、この日に向けて販売広告等の印刷物を多種大量に作製したが、今年は景況感の悪化による広告宣伝費縮減の影響で大分受注が減つ

たようだ。

【生コン製造】

【県内全域】

需要が回復に向かっているが職人不足による工期の遅れがある。原材料コストUP分を価格に転嫁する為、値上げに取り組んでいる。

【電気鍍金】

【千葉】

前年度月を100%とすると、9月の景況は73%(速報)、依然として改善の兆しが見えない。

【鉄工】

【千葉】

国内組は弱含み横ばい推移中ながら、中国へ進出しているメンバーは、中国経済減速感が台頭し、大なる受注減(▲50%前後)となるなど、後退色が顕在化している。全体として景況感悪化との感触。

【機械部品製造】

【野田】

対中国、韓国情勢安定化を願い、国内事情が良くなる方向に期待したい。業界動向は、金属製品、機械加工、製缶は潤いがある状況。

【機械部品製造】

【流山】

業種によっては売上高が増えていますが、収益面は前月分より電気が増えているので悪化している。

【機械部品製造】

【柏】

中国の影響により受注減少。車関係減税等終了による減少。業界動向は、軽量の要求が高い。内製

化の動きも継続的。

【金属製品製造】

【船舶】 全般的に停滞状態にある。依然として先行き不透明な状況。

【採石】

【県内全域】 総じて工事箇所への数量が減少。

【土砂採取】

【県内全域】 骨材需要は減少したまま。8月迄出荷が好調であったところも9月から落ち込むところが出てきた。一部復興需要の関係で骨材需要増加の方向のところがある。また、復興需要関係の砂の引合いも徐々に聞こえてきており、今後、砂が逼迫される可能性もある。

非製造業

【総合卸売】

【千葉県・東京都】 夏場の猛暑のため、省エネ・節電にも限界があり、電力料金支払額増加。コストUPとなっている。また、10月以降に実施される環境税等、景気低迷が続く中、企業の収支圧迫要因が増加する見込み。

【精肉卸】 冷凍冷蔵庫使用による電力料金が前年同期比15%増。

【食肉卸売】

【千葉市他】 と畜当数（牛）減少により収益が悪化。飼料価格が高騰して枝肉価格は低迷、畜産農家の経営環境が悪化している。

【建築材料卸売】

【県内全域】

政情国際状況はともかく、国内のセメント需要は低落傾向に底を打った模様。全国平均は前年比102%であるが、千葉県は前年92%（前々年よりは7%増）と落ちこぼれている。首都圏の中でも千葉県だけめばしい物件が無く、先細り不安が大きい。

【自動車解体】

【県内全域】

9月中にスクラップ価格が前月比15%下落。廃車発生台数低迷、円高による輸出低迷と明るい話題がない。エコカー補助金終了。

【乾物卸売】

【県内全域】

消費低迷状況は変わらない。

【小売】

【柏】

商品が秋物に変わったが、残暑が厳しく売れていない。消費者の低価格嗜好は依然強い。

【電気機器小売】

【県内全域】

8月に比べ9月は厳しい。エアコンの売上が減り、他の商品の売上も減っている。このままでは最悪の状態になる可能性がある。

【青果小売】

【千葉】

野菜は前月よりやや高めであったが、果物は思ったより動かず利益が取りにくかった。夏場（7～9月）は例年にない程前年を大きく

く下回ってしまった。

【中古車仕入・販売】

【県内全域】

エコカー補助金の終了に伴い、タマ不足感が強まってきた。相場は今までの供給過多で下落傾向で推移しているが、タマ不足による反動が懸念される状況に。

【小売】

【東金】

残暑が続く、秋物に動きが悪かった。食品等は比較的良かった。高額品関係は、依然と低迷が続く。

【小売】

【野田】

9月に入っても厳しい残暑が続く、秋物衣料の売上が伸びなかった。相変わらず、消費者の購買意欲も低く、売上回復に至っていない。

【印鑑小売】

【県内全域】

店売りは、今月も前年比オーバーしたが、営業が8月に続き、大きく前年売上を割っている。

【小売・サービス】

【柏】

残暑により季節商品を扱う業種は最悪な結果と成った。良い業種は皆無。

【建設揚重】

【県内全域】

稼働状況は中旬より上昇。需要家により温度差がある。

【遊覧船】

【鴨川】

風評被害が続いているせい、県内観光施設は軒並み前々年度ま

での回復の見通しつかない。各施設を見ると、9月の平均は前年度割れが多く、先行きが非常に不安。

【一般廃棄物処理】

【千葉市】

9月は、今年度で一番景気の悪い月となった。年末に向けて状況が好転することを期待したい。

【ソフトウエア】

【県内全域】

低迷状態継続中。が、多少明るさも見えてきているようだ。事例として、IT技術者の派遣単価上昇等のニュースが出てきている。

【建設】

【県内全域】

当連合会加入組合員の受注額は10,812百万円であった。これは、前月比で777百万円の増加。前年比では、1,274百万円の減少。（市町村の受注が2,188百万円と大きく減少した。）

【貨物運送】

【野田】

前月よりも売上は幾分良くなったものの昨年に比べると若干落ちている。

あまり目立たないが零細運送業者が金融機関を介して吸収合併されているケースが見受けられる。

【輸出入】

【県内全域】

日中の政治問題で中国人旅客の減少が続いているので、空港などの物販の売上に影響が出ている。